

2:1 【主】がエリヤを竜巻に乗せて天に上げようとしたときのこと、エリヤはエリシャを連れてギルガルから出て行った。

2:2 エリヤはエリシャに「ここにとどまっていなさい。【主】が私をベテルに遣わされたから」と言った。しかしエリシャは言った。「【主】は生きておられます。あなたのたましいも生きています。私は決してあなたから離れません。」こうして、彼らはベテルに下って行った。

2:3 すると、ベテルの預言者の仲間たちがエリシャのところに出て来て、彼に言った。「今日、【主】があなたの主人をあなたから取り上げられることを知っていますか。」エリシャは、「私も知っていますが、黙っててください」と答えた。

2:4 エリヤは彼に「エリシャ、ここにとどまっていなさい。【主】が私をエリコに遣わされたから」と言った。しかし彼は言った。「【主】は生きておられます。あなたのたましいも生きています。私は決してあなたから離れません。」こうして、彼らはエリコにやって来た。

2:5 するとエリコの預言者の仲間たちがエリシャに近づいて来て、彼に言った。「今日、【主】があなたの主人をあなたから取り上げられることを知っていますか。」エリシャは、「私も知っていますが、黙っててください」と答えた。

2:6 エリヤは彼に「ここにとどまっていなさい。【主】が私をヨルダンへ遣わされたから」と言った。しかし彼は言った。「【主】は生きておられます。あなたのたましいも生

きています。私は決してあなたから離れません。」こうして、二人は進んで行った。

2:7 一方、預言者の仲間たちのうち五十人は、行って遠く離れて立った。二人がヨルダン川のほとりに立ったとき、

2:8 エリヤは自分の外套を取り、それを丸めて水を打った。すると、水が両側に分かれたので、二人は乾いた土の上を渡った。

2:9 渡り終わると、エリヤはエリシャに言った。「あなたのために何をしようか。私があるところから取り去られる前に求めなさい。」するとエリシャは、「では、あなたの霊のうちから、二倍の分を私のものにしてください」と言った。

2:10 エリヤは言った。「あなたは難しい注文をする。しかし、私があるところから取り去られるとき、あなたが私を見ることができれば、そのことはあなたにかなえられるだろう。できないなら、そうはならない。」

2:11 こうして、彼らがなお進みながら話していると、なんと、火の戦車と火の馬が現れ、この二人の間を分け隔て、エリヤは竜巻に乗って天へ上って行った。

2:12 エリシャはこれを見て、「わが父、わが父、イスラエルの戦車と騎兵たち」と叫び続けたが、エリヤはもう見えなかった。彼は自分の衣をつかみ、それを二つに引き裂いた。

2:13 それから、彼はエリヤの身から落ちた外套を拾い上げ、引き返してヨルダン川の岸边に立った。

2:14 彼は、エリヤの身から落ちた外套を取って水を打ち、「エリヤの神、【主】はどこにおられるのですか」と言った。エリ

シャが水を打つと、水が両側に分かれ、彼はそこを渡った。

「二つの分け前」とは、エリヤの跡継ぎになることを表します。預言者はいのちがけの働きでしたが、エリシャはその後継者となることを決心したのです。

勇気と献身をもって、尊い主の働きを自分で引き受けてゆくところに、神の国の前進があります。勇気を持ち後継者になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

